

※ 募集要項の請求方法

募集要項の請求は、大学宛封筒の表に「医歯学総合研究科口腔生命福祉学専攻【博士後期課程】募集要項請求」と朱書きし、返信用封筒を以下の請求先に郵送して請求してください。

返信用封筒

標準角形2号（33 cm×24 cm）に250円分の切手を貼り、配達先の郵便番号・住所・氏名を明記したもの。

※速達の場合は、上記郵便料金に速達料金を加算してください。

請 求 先

〒951-8514 新潟市中央区学校町通2番町5274番地
新潟大学歯学部事務室学務係
電話 025-227-2798

郵便料金の変更について

消費税率の改定に伴い、2019年10月1日（火）から郵便料金に変更となります。

郵便料金の変更に伴い、郵便切手を貼る必要がある返信用封筒については、**384円分**を貼って提出してください。

現行料金 (本募集要項に記載)	→	新料金 (10月1日より)
372円		384円

令和2年度（令和2年4月入学）

新潟大学大学院医歯学総合研究科
口腔生命福祉学専攻【博士後期課程】

学 生 募 集 要 項

（ 一 般 入 試 ）
社 会 人 特 別 入 試
進 学 者 選 考

新潟大学大学院医歯学総合研究科

入試日程等

◇入試日程

	令和2年4月入学 ＜第1次募集＞	令和2年4月入学 ＜第2次募集＞
資格審査申請期限 (該当者のみ)	令和元年10月17日(木)【必着】	令和元年12月13日(金)【必着】
出願期間	令和元年 11月11日(月)～11月14日(木)【必着】	令和2年 1月14日(火)～1月16日(木)【必着】
試験日	令和元年12月11日(水)	令和2年2月5日(水)
合格発表	令和2年1月22日(水)	令和2年3月13日(金)
入学手続	令和2年 2月28日(金)～3月3日(火)【必着】	令和2年 3月23日(月)～3月24日(火)【必着】

◇試験会場

新潟大学歯学部
新潟市中央区学校町通2番町5274番地

◇入試事務

〒951-8514 新潟市中央区学校町通2番町5274番地
新潟大学歯学部学務係
電話 (025) 227-2798・2799

新潟大学志願者への入学検定料免除について

新潟大学では、災害等の被災者の経済的負担を軽減し、進学機会の確保を図るため、入学検定料免除の特別措置を行います。

免除の対象となる災害及び被災地域など、免除に関する詳細については、本学ホームページをご覧ください。

新潟大学ホームページ：<https://www.niigata-u.ac.jp/>

目 次

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

I. 令和2年度入試（第1次募集・第2次募集）	1
○ 一般入試・社会人特別入試	
1 専攻及び募集人員	3
2 出願資格	3
3 出願手続	4
4 選抜方法	6
5 合格者の発表及び入学手続	6
6 授業料	7
7 その他	7
II. 出願資格の確認	9
III. 進学者選考	13
IV. 新潟大学大学院医歯学総合研究科口腔生命福祉学専攻（博士後期課程） 入学・進学案内	19
V. 授業科目の概要	23
VI. 本研究科所定用紙（出願書類等）	31

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

理念

新潟大学大学院医歯学総合研究科口腔生命福祉学専攻（博士後期課程）は、障害者、要介護者を含む全ての人々の摂食・口腔機能の維持向上および安心安全な食介護の推進に資することを目的に、口腔生命科学を基盤としつつ、社会福祉学領域等との学際的研究を自ら推進できる指導的教育研究者を養成するとともに、当該分野における研究成果を地域および国際社会で実践・展開できる高度専門職業人を養成することにより、地域社会および国際社会における健康水準と生活の質の向上に寄与することを基本理念とする。

目標

摂食・口腔機能の育成および維持向上、安心・安全な食介護の推進に関し、口腔を中心とした生命医療科学を基盤としながら、保健・医療と社会福祉学領域等との学際的研究を推進できる指導的教育研究者および地域・国際社会において指導的役割を果たせる高度専門職業人を養成することを目標とする。

求める学生像

口腔保健・医療福祉分野に従事する専門職として求められる基本的な教養とコミュニケーション能力などの資質とともに、専門科目の履修に必要な基礎学力を有したうえで、生命科学一般及び保健医療福祉に関する基本的理解に立脚した、専門分野への深い関心と高い目的意識を持ち合わせた学生を求める。

入学者選抜方針

本専攻が目指す学際的研究の自立的な遂行と新たな学問体系の確立、あるいは地域・国際社会における先駆的实践に高い意志を持ち、口腔を中心とした生命医療科学および保健・医療・福祉に関する基本的理解とともに、修学および研究の遂行に必要な一般教養、コミュニケーション能力、語学力を有する人を選抜する。

I. 令和2年度入試

(第1次募集・第2次募集)

一般入試

社会人特別入試

- 令和2年4月入学新潟大学大学院医歯学総合研究科口腔生命福祉学専攻（博士後期課程）の学生を、次のとおり募集します。

1 専攻及び募集人員

口腔生命福祉学専攻（博士後期課程）	第1次募集	3人
	第2次募集	若干人

募集人員の中には、一般入試及び社会人特別入試を含みます。

2 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者

なお、社会人特別入試に該当する者とは、原則として入学時に保健医療福祉施設、教育研究機関、行政機関等において、3年以上相当の保健医療福祉に関する実務経験（通算可）を有する者で、次の各号のいずれかに該当し、入学後もその身分を継続するものとする。

また、社会人特別入試に関して不明な点がある場合は「3(3) 出願書類等提出先」に問い合わせてください。

- (1) 修士の学位又は専門職学位（学校教育法第104条第1項の規定に基づき学位規則（昭和28年文部省令第9号）第5条の2に規定する専門職学位をいう。以下同じ。）を有する者及び令和2年3月までに授与される見込みの者
 - (2) 外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和2年3月までに授与される見込みの者
 - (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和2年3月までに授与される見込みの者
 - (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和2年3月までに授与される見込みの者
 - (5) 大学を卒業し、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本研究科において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
 - (6) 外国において学校教育における16年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本研究科において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めたもの
 - (7) 本研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、令和2年3月31日までに24歳に達するもの
- ※ 出願資格(2)、(3)及び(5)～(7)のいずれかに該当する者は、個別に資格確認又は審査を行うので、「Ⅱ. 出願資格の確認」を参照の上、資格審査申請期限までに申請書類を提出してください。

3 出願手続

(1) 出願期間

第1次募集	令和元年11月11日(月)～11月14日(木) 【必着】
第2次募集	令和2年1月14日(火)～1月16日(木) 【必着】

(注) 出願に際しては、あらかじめ希望する研究テーマ等について確認を行うため、下記連絡先教員のいずれかに問い合わせのうえ、出願してください。

〈問い合わせ先〉

福祉学領域 大内 章嗣 ohuchi@dent.niigata-u.ac.jp (025) 227-0551
 口腔保健学領域 葭原 明弘 akihiro@dent.niigata-u.ac.jp (025) 227-0906

(2) 出願書類等

入学志願者は、本要項に添付の封筒(「大学院博士後期課程出願書類在中」)に、下記書類等を入れ、出願期間中に郵送(書留速達)してください。

出願書類等		摘 要
①	入 学 願 書	本要項に添付の用紙を使用してください。なお、「検定料納付証明書(新潟大学提出用)」を所定欄に確実に貼ってください。(※取扱金融機関の収納印が押印されていることを必ず確認してください。)
②	受 験 票・写 真 票	所定箇所に写真(出願日前3か月以内に撮影した、縦4cm×横3cm、上半身、無帽、正面向きのもので受験時に眼鏡を使用する者は、眼鏡をかけて撮影してください。)をそれぞれ貼ってください。
③	最終学歴の修了証明書(右のいずれか)	出身大学院の研究科長(又は学長)が作成したもの。
	※ 卒業証明書	出身大学の学部長(又は学長)が作成したもの。
	※ 学位授与証明書又は学位申請受理証明書	大学改革支援・学位授与機構が作成したもの。
④	成 績 証 明 書 ※	出身学校長(研究科長、学部長等)が作成し厳封したもの。
⑤	修 士 論 文 等	修士の学位を有する者は、修士論文の写し及び論文の要旨(本研究科所定の用紙で2,000字程度)各1部。 また、専門職学位を有する者で、修士論文に相当する論文を有する場合は、当該論文の写し1部。
	※	修士課程修了見込みの者及び出願資格の(4)～(7)により出願する者は、研究経過報告書(本研究科所定の用紙で2,000字程度)。
⑥	研 究 (希 望) 計 画 書 ※	本研究科所定の用紙。
⑦	研 究 業 績 等 調 書 (社会人特別入試のみ) ※	本研究科所定の用紙。社会人特別入試に出願する者は提出してください。
⑧	就 学 承 諾 書 (社会人特別入試のみ)	本研究科所定の用紙。出願時に在職中の者は、所属長の職印で承諾されたものを提出してください。

⑨ 在留カードの写し又はパスポートの写し	外国人志願者のみ必要です。在留カードの写し（表裏両面）を提出してください。ただし、渡日前等により提出できない場合はパスポートの写し（氏名等が記載されているページ）を提出してください。
⑩ 返信用封筒	封筒には、志願者の郵便番号、住所及び氏名を明記してください。「入学試験関係書類在中」封筒には郵便切手 372 円分を貼ってください。「合格通知書在中」封筒及び「入学手続書類在中」封筒には郵便切手を貼る必要はありません。
⑪ 検定料 30,000 円	<p>本要項に添付の「振込依頼書（新潟大学大学院医歯学総合研究科（博士後期課程）入学試験検定料）・振込金及び手数料領収書（志願者保存）・検定料納付証明書（新潟大学提出用）」に必要事項を記入し、以下の点に留意のうえ、切り離さずに最寄りの金融機関（ゆうちょ銀行を除く。）に持参し、窓口で所定の検定料を振り込んでください。その際、必ず取扱金融機関収納印欄に押印を受けてください。</p> <p>なお、振込手数料は、志願者本人の負担となります。</p> <p>① 依頼人氏名欄は、必ず志願者本人の氏名を記入してください。</p> <p>② 検定料の振込みは、下記の期間内に必ず行ってください。（※土・日曜日・祝日の振込みはできません。）</p> <p>第1次募集 令和元年11月5日(火)～11月14日(木) [15時00分]</p> <p>第2次募集 令和2年1月7日(火)～1月16日(木) [15時00分]</p> <p>③ ATM（現金自動預払機）での振込みはできません。</p>
⑫ 検定料納付証明書（新潟大学提出用）	金融機関の窓口から返却された「検定料納付証明書（新潟大学提出用）」を入学志願票の所定欄に貼ってください。（※取扱金融機関の収納印が押印されていることを必ず確認してください。）

(注1) 出願書類等提出後は、記載事項の変更は認めません。

(注2) 出願書類⑧の承諾書の印は、個人印・社印ではなく、社長・支店長等の、職を表す印に限ります。

(注3) ⑩について、郵便料金が改定となった場合は、改定後の料金分の切手を貼ってください。

(注4) ※印の出願書類については、出願資格確認の際に提出した場合、再度提出する必要はありません。

(3) 出願書類等提出先

〒951-8514 新潟市中央区学校町通2番町5274番地
新潟大学歯学部学務係
電話 (025) 227-2798・2799

(4) 受験票の発送

第1次募集は令和元年11月21日(木)頃に、第2次募集は令和2年1月23日(木)頃に発送します。

4 選抜方法

入学者の選抜は、学力検査（筆記試験・口述試験）及び出願書類により行います。

(1) 一般入試

期 日	時 間	科 目 等	試 験 場
第1次募集 令和元年12月11日(水)	13:00~14:30	外国語(英語)	新潟大学歯学部
第2次募集 令和2年2月5日(水)	15:00~	口 述 試 験	

※ 外国語(英語)については、本専攻の履修に必要な基本的英文読解能力を問うものです。辞書の持ち込みは可とします。ただし、電子辞書及び辞典は不可とします。

口述試験については、本専攻の関連分野についての知識を問うものです。

(2) 社会人特別入試

期 日	時 間	科 目 等	試 験 場
第1次募集 令和元年12月11日(水)	13:00~	口 述 試 験	新潟大学歯学部
第2次募集 令和2年2月5日(水)			

※ 口述試験については、本専攻の関連分野についての知識を問うとともに、外国語(英語)の学力も試験します。

5 合格者の発表及び入学手続

(1) 合格者の発表

第1次募集	令和2年1月22日(水)	午前10時	歯学部正面玄関前
第2次募集	令和2年3月13日(金)	午前10時	歯学部正面玄関前

上記日時に合格者の受験番号を掲示により発表するとともに、合格者へは郵送により合格通知書等を送付します。

なお、電話等による可否に関する問い合わせには、一切応じません。

(2) 入学手続

入学手続の概要は、次のとおりです。詳細については、合格者に別途通知します。

① 入学手続期間

第1次募集	令和2年2月28日(金)~3月3日(火) 【必着】
第2次募集	令和2年3月23日(月)~3月24日(火) 【必着】

② 入学手続時に要する経費

入学料 282,000円〔予定額〕

(注) 入学料免除を希望する者は、入学料を納付しないでください。

6 授業料

年額 535,800円（前期分 267,900円，後期分 267,900円）〔予定額〕

(注1) 授業料は、入学後、口座引き落としにより納付していただく予定です。

(注2) 授業料の納付方法の詳細については、合格者に別途通知します。

(注3) 在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

7 その他

(1) 出願書類提出後は、記載事項の変更は認めません。

(2) 障がい有する者で、受験上及び修学上の配慮を希望する者は、出願前に新潟大学歯学部学務係（(025) 227-2798）に相談してください。

(3) 既納の検定料及び提出された出願書類等は返還しません。

検定料振込み後、出願期間内に書類等を提出しなかった場合は、当該検定料（30,000円）を返還します。詳細は、本学ホームページ（<https://www.niigata-u.ac.jp/>）の「入学を希望する方」→「納付済検定料返還手続」を参照してください。

なお、納付済検定料返還請求書の郵送を希望される方は、財務部財務管理課収入係まで連絡してください。

〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町8050番地
新潟大学財務部財務管理課収入係
電話 (025) 262-6053

Ⅱ．出願資格の確認

「I. 2 出願資格」の(2), (3)及び(5)~(7)のいずれかに該当する者は, 次により出願資格の確認を受けてから出願してください。

1 提出書類等

次ページ以降の「各出願資格について」を参照してください。

なお, 外国語で作成された書類には, 日本語の訳文を必ず添付してください。

2 提出方法

出願資格審査の申請書類は, 持参(午前8時30分から午後5時までの, 土曜日, 日曜日及び祝日を除く。)又は郵送により送付してください。

3 提出期限

第1次募集 令和元年10月17日(木)【必着】

第2次募集 令和元年12月13日(金)【必着】

4 出願資格審査

出願資格審査については, 提出された申請書類により行います。

5 出願資格審査結果の通知

出願資格審査の結果は, 出願期間開始前までに, 本人あて郵送により通知します。

出願資格を認定された申請者は, 出願手続を行ってください。

6 提出先

〒951-8514 新潟市中央区学校町通2番町5274番地

新潟大学歯学部学務係

電話 (025) 227-2798・2799

○ 各出願資格について

1 「出願資格(2), (3)」により出願する場合の、審査に必要な書類等

提出書類等	摘 要
① 出 願 資 格 認 定 申 請 書	本要項に添付の所定用紙を使用してください。
② 最 終 学 歴 の 修 了 (見 込 み) 証 明 書	最終出身(在籍)大学院の研究科長(又は学長)が作成したものを提出してください。
③ 成 績 証 明 書	
④ 在 留 カ ー ド の 写 し 又 は パ ス ポ ー ト の 写 し (外 国 人 志 願 者 の み)	在留カードの写し(裏表両面)を提出してください。ただし、渡日前等により提出できない場合はパスポートの写し(氏名等が記載されているページ)を提出してください。
⑤ 返 信 用 封 筒 (審 査 結 果 通 知 用)	封筒(長形3号)に申請者の郵便番号、住所及び氏名等を明記し、郵便切手372円分を貼ってください。

※1 ②, ③については、本物(オリジナル)を提出し、必ず和訳文を添付してください。

※2 ⑤について、郵便料金が改定となった場合は、改定後の料金分の切手を貼ってください。

2 「出願資格(5)~(7)」により出願する場合の、審査に必要な書類等

提出書類等	摘 要
① 出 願 資 格 認 定 申 請 書	本要項に添付の所定用紙を使用してください。
② 卒 業 (修 了) 証 明 書	最終出身大学の学長(学部長)が作成したものを提出してください。
③ 成 績 証 明 書	最終出身大学の学長(学部長)が作成したものを提出してください。
④ 研 究 (希 望) 計 画 書	本要項に添付の所定用紙を使用してください。
⑤ 修 士 論 文 要 旨 又 は 研 究 経 過 報 告 書	本要項に添付の所定用紙を使用してください。
⑥ 研 究 業 績 等 調 書	本要項に添付の所定用紙を使用してください。なお、記載した論文、研究発表等の写しを提出してください。
⑦ 返 信 用 封 筒 (審 査 結 果 通 知 用)	封筒(長形3号)に申請者の郵便番号、住所及び氏名等を明記し、郵便切手372円分を貼ってください。

※ ⑦について、郵便料金が改定となった場合は、改定後の料金分の切手を貼ってください。

Ⅲ. 進 学 者 選 考

1 出願資格

新潟大学大学院修士課程，博士前期課程又は専門職学位課程を，令和2年3月修了見込みの者

2 出願手続

(1) 出願期間

第1次募集は，令和元年11月11日(月)～11月14日(木)〔必着〕

第2次募集は，令和2年1月14日(火)～1月16日(木)〔必着〕

(2) 出願方法

出願書類の提出は，郵送（書留速達）に限ります。志願者は，出願書類等を取りそろえ，本要項に添付の封筒（「大学院博士後期課程出願書類在中」）を使用して郵送（書留速達）により提出してください。

(3) 提出先

〒951-8514 新潟市中央区学校町通2番町5274番地

新潟大学歯学部学務係

電話 (025) 227-2798・2799

(4) 出願書類

出願書類等	摘 要
① 進 学 願 書	本要項に添付の所定用紙
② 受 験 票・写 真 票	所定箇所に写真（出願日前3か月以内に撮影した，縦4cm×横3cm，上半身，無帽，正面向きのもので受験時に眼鏡を使用する者は，眼鏡をかけて撮影してください。）をそれぞれ貼ってください。
③ 成 績 証 明 書	研究科長が作成し，厳封したもの（本学大学院医歯学総合研究科口腔生命福祉学専攻（博士前期課程）修了見込み者は提出する必要はありません。）
④ 修 了 見 込 証 明 書	研究科長が作成したもの（本学大学院医歯学総合研究科口腔生命福祉学専攻（博士前期課程）修了見込み者は提出する必要はありません。）
⑤ 研 究 経 過 報 告 書	本研究科所定の用紙で2,000字程度
⑥ 研 究（希 望）計 画 書	本研究科所定の用紙
⑦ 返信用封筒 3枚 ・入学試験関係書類在中 ・合格通知書在中 ・入学手続書類在中	・封筒には，志願者の郵便番号，住所及び氏名を記入してください。 ・「入学試験関係書類在中」には，郵便切手372円を貼ってください。 ・「合格通知書在中」封筒及び「入学手続書類在中」封筒には郵便切手を貼る必要はありません。
⑧ 在留カードの写し又は パスポートの写し (外国人志願者のみ)	在留カードの写し（表面及び裏面）又はパスポートの写しを提出してください。

※ ⑦について，郵便料金が改定となった場合は，改定後の料金分の切手を貼ってください。

(5) 出願にあたっての注意事項

- ① 検定料は不要です。
- ② 出願書類受理後は、いかなる理由があっても書類の返却、記載事項の変更はできません。
- ③ 出願書類に虚偽の記載内容があった場合には、進学後においても進学が取り消されることがあります。
- ④ 提出された出願書類等及び記載されている個人情報、進学者選考に係る業務に使用します。
また、出願に当たってお知らせいただいた個人情報及び入試成績については、進学後の①教務関係（学籍、修学指導等）、②学生支援関係（健康管理、奨学金申請書）、③授業料等に関する業務を行うために利用します。

(6) 受験票の発送

第1次募集は令和元年11月21日(木)頃に、第2次募集は令和2年1月23日(木)頃に発送します。

3 進学者選考の方法

進学者の選考は、学力検査等（外国語「英語」、口述試験）及び出願書類により総合的に判定します。

学力検査等実施日時・試験場

試験日	時間	試験科目等	試験場
第1次募集 令和元年12月11日(水)	13:00~14:30	外国語(英語)	新潟大学歯学部
第2次募集 令和2年2月5日(水)	15:00~	口述試験	

※ 外国語（英語）については、本専攻の履修に必要な基本的英文読解能力を問うものです。辞書の持ち込みは可とします。ただし、電子辞書及び辞典は不可とします。

口述試験については、本専攻の関連分野についての知識を問うものです。

※ 第1次募集、第2次募集とも

(注1) 受験に際しては、受験票を必ず持参してください。

(注2) 受験者は、試験開始20分前までに集合してください。

4 合格発表

第1次募集は令和2年1月22日(水)午前10時、第2次募集は令和2年3月13日(金)午前10時
歯学部正面玄関前に合格者の受験番号を掲示により発表するとともに、合格者へは合格通知書
を郵送します。

なお、電話等による可否の問い合わせには、一切応じません。

5 進学手続等

進学手続の概要は、次のとおりです。詳細については、合格者に別途通知します。

(1) 進学手続期間

令和2年3月23日(月)～3月24日(火)

- ① 郵送（書留速達，期間内必着）又は本研究科に来学のうえ，手続きを行ってください。
- ② 上記期間内に進学手続を完了しない場合，進学辞退として取り扱います。

(2) 入学料

入学料は不要です。

(3) 授業料について

年額535,800円（前期分 267,900円，後期分 267,900円）〔予定額〕

（注1）授業料は，進学後，口座引き落としにより納付していただく予定です。

（注2）授業料の納付方法の詳細については，合格者に別途通知します。

（注3）在学中に授業料改定が行われた場合には，改定時から新授業料が適用されます。

IV. 新潟大学大学院医歯学総合研究科
口腔生命福祉学専攻（博士後期課程）
入学・進学案内

1 履修方法及び学位授与

必修コースワーク科目から4単位，専門展開科目から4単位以上及び研究指導4単位の合計12単位以上を修得しなければなりません。

本研究科に3年以上在学して，所定の単位を修得し，かつ，必要な研究指導を受けた上，学位論文の審査及び最終試験に合格した者に博士（口腔保健福祉学）又は博士（学術）の学位を授与します。

2 入学料免除等

入学する学生で下記のいずれかに該当し，入学手続期間内に所定の申請を行った者について，選考の上，入学料の全額又は半額を免除する制度があります。

また，入学料徴収猶予（延納）の制度もあります。

- (1) 経済的理由により，入学料の納付が著しく困難であり，かつ，学業優秀と認められる者
- (2) 入学前1年以内において，本学に入学する者の学資を主として負担している者（以下「学資負担者」という。）が死亡し，又は本学に入学する者若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けたことにより，入学料の納付が著しく困難であると認められる者
- (3) 上記に準ずる場合であって，相当の事由があると認められる者

3 授業料免除等

下記のいずれかに該当する者のうち，入学後，所定の期間内に申請を行った者について，選考の上，各期ごとに授業料の全額又は半額を免除する制度があります。

また，授業料徴収猶予（延納又は月割分納）の制度もあります。

- (1) 経済的理由により納付が困難であり，かつ，学業優秀と認められる場合
- (2) 授業料の当該期の納期前6か月以内（新入学者に対する入学した日の属する期分の免除に係る場合は，入学前1年以内）又は納期中に，学資負担者が死亡し，又は学生若しくは学資負担者が風水害等の災害を受け，納付が著しく困難であると認められる場合
- (3) 上記に準ずる場合であって，学長が相当と認める事由がある場合

4 奨学金制度

日本学生支援機構には，学業・人物ともに優れた学生で経済的理由のため修学困難であると認められる者に対し，奨学金を貸与する制度があります。その貸与月額は，下記のとおりです。

この奨学金は，本人の申請に基づき，学業成績，研究能力及び経済的事情を審査し，選考の上，適格者を日本学生支援機構に推薦し，決定されるものです。

貸与月額（令和元年度の場合）

第一種（利息の無いタイプ） 80,000円，122,000円から選択

第二種（利息が付くタイプ） 5万円，8万円，10万円，13万円，15万円から選択

5 教育方法の特例〔大学院設置基準（昭和49年文部省令第28号）第14条に定める教育方法の特例〕による教育について

医療・保健・福祉施設，教育研究機関，官公庁，企業等において活躍中の社会人が本研究科で学ぶ場合，3年間完全に勤務を離れ学業に専念することになりますが，このような就学条件を満たすことは一般的に難しいことです。

そこで，このような社会人学生に対しては，大学院設置基準第14条の「大学院の課程においては，教育上特別の必要があると認められる場合には，夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。」の規定に基づき，教育方法の特例を実施します。

この特例により，学生は，それぞれの研究テーマに応じ，指導教員と協議の上，通常の授業形態のほか，夜間講義や週末又は夏期等の休業期間における集中講義等による単位修得の便宜を受けて研究を継続させ，博士論文を作成することができます。

6 長期にわたる教育課程の履修について

この制度は，学生が職業を有しているなどの理由により，標準修業年限（3年）を超えて4年又は5年にわたり計画的に教育課程を履修し，修了することができる制度です。なお，申請が認められた場合の授業料については，学生の負担軽減を図る観点から，標準修業年限の授業料総額を希望する在学年限で分割して納めることとなります。

7 入学者選抜に用いた個人情報の取扱い

(1) 出願に当たってお知らせいただいた氏名，住所その他の個人情報については，①入学者選抜（出願処理，選抜実施），②合格発表，③入学者選抜方法等における調査・研究，分析及び④これらに付随する業務を行うために利用します。

(2) 入学者選抜に用いた試験成績の個人情報は，入学者選抜方法等における調査・研究，分析を行うために利用します。

(3) 出願に当たってお知らせいただいた個人情報及び入試成績は，合格者のみ入学手続関係（入学科，授業料等），教務関係（学籍，修学指導等），学生支援関係（健康管理，奨学金申請等）に関する業務を行うために利用します。

なお，個人情報のうち，合格者の氏名及び住所については，本学の同窓会及び後援会からの連絡を行うために利用する場合があります。

V. 授業科目の概要

科目区分	授業科目の名称・単位	講義等の内容	備考
必修 コース ワーク 科目 (4単位)	口腔保健福祉学研究ベーシックコース 2単位	<p>(概要)</p> <p>口腔保健福祉学分野における学際的研究を実践していくための基盤となる口腔保健医療福祉の現状と課題、医療倫理、感染予防等について理解するとともに、同分野における主要な研究テーマについての国内外の論文等の批判的論考を通じ、口腔保健医療福祉分野における研究を遂行するにあたって必要となる基本的知識および応用力を体系的に修得する。</p> <p>(オムニバス方式／全15回)</p> <p>(大内章嗣／2回)</p> <p>口腔保健医療福祉を取り巻く社会背景および医療保険制度、介護保険制度を含む関連社会保障制度の動向について概説するとともに、これらと口腔保健との関わりについて最新の知見を踏まえ論究する。</p> <p>(小川祐司／1回)</p> <p>途上国支援を中心とした国際口腔保健施策の枠組みと近年の課題および対策の動向について概説するとともに、これを支える国際口腔保健研究の現状について、最新の研究成果を踏まえ論究する。</p> <p>(大内章嗣／2回)</p> <p>生命科学領域における生命倫理上の問題について、内外の事例、学説、法制度、社会的背景等について事例検討をもとに学修する。</p> <p>(小野和宏／2回)</p> <p>口腔保健管理を進めていくために必須の知識・技術である感染予防および救急蘇生処置を含む全身管理について、その概念、基本的手技をその背景となる科学的根拠を踏まえ教授する。</p> <p>(山村健介／2回)</p> <p>摂食嚥下障害を理解するための解剖・生理・病因病態について最新の知見を踏まえて概説するとともに、摂食嚥下機能を評価するための分析・記録法について演習を交えて教授する。</p> <p>(葭原明弘／2回)</p> <p>さまざまな健康状態を踏まえた口腔機能の獲得・維持を図るための口腔保健管理手法とその評価・研究法に関し、国内外の文献を解説し、批判的論考を加えることにより、今後の研究課題および研究手法に関する知識・技術を習得する。</p> <p>(山崎和久／2回)</p> <p>歯周疾患を中心とした口腔疾患の予防管理に関して、その病因および歯周疾患と全身疾患の関連について、最新の研究成果を踏まえ教授するとともに、リスクファクターの分析、予防管理法とその効果の評価について、国内外の文献を解説し、批判的論考を加えることにより、今後の研究課題および研究手法に関する知識・技術を習得する。</p> <p>(高橋英樹／2回)</p> <p>地域福祉保健の観点からの地域における実践事例を題材に、口腔保健医療福祉に関わる様々な機関、職種の役割と連携のあり方について、多角的な事例分析を行い、ソーシャルワークの基盤となる理論および研究手法を習得する。</p>	オムニバス方式 講義18時間 演習12時間
	アカデミックリーディング 1単位	<p>(ジャン・プレゲンズ／7回)</p> <p>研究を行う上で不可欠である英論文の読解に習熟するため、スキミング、スキミング等の英文を迅速かつ正確に読み取る技術を、テキストを題材としたコースワークにより修得する。</p>	
	実践統計学ベーシックコース 1単位	<p>(概要)</p> <p>研究を成功に導くための鍵はプロトコールの内容（研究デザイン）に対する適切な統計手法を理解することにある。本コースでは実際の研究における事例を用いて研究デザインの構築からデータ解析で用いられている統計学的手法の理論を習得させる。</p>	オムニバス方式 講義10時間 演習6時間

科目区分	授業科目の名称・単位	講義等の内容	備考
必修 コースワーク 科目		<p>(オムニバス方式／全16回) (小川祐司ほか／7回) 導入として、対象等に応じた様々な研究事例を提示し、研究デザインの基本的考え方について教授するとともに、基本的な統計処理の概念および手法について、データの入力・集計から統計解析処理までを演習形式で学修する。 (小川祐司／1回) 近年、重要性が増しているヒトを対象とした医学研究の倫理的原則について、各種法令・ガイドラインに基づき概説するとともに、具体的な手続きについて教授する。 (葭原明弘ほか／2回) 実際の研究事例をもとに、研究デザインの妥当性評価について、理論および留意点を教授する。また、近年、重要視されている手法であるシステマティック・レビューの概念および手法について、実際の研究事例をもとに教授する。 (小川祐司ほか／6回) 研究プロトコール作成における各ステップ毎の基本的考え方の提示をもとに、学生自ら研究プロトコールモデルを作成し、その発表、検証を通じて研究デザインの構築からデータ解析に至る一連の統計手法を学修する。</p>	
専 門 展 開 科 目 (4単位以上)	<p>口腔保健管理学特論 2単位</p>	<p>(概要) 口腔疾患の予防管理に関する最近の知見をふまえた知識・技術を教授するとともに、最新の研究論文等を題材に検討を行うことにより口腔保健管理分野における研究デザイン、評価・解析技法等について理解する。 (オムニバス方式／全15回) (山崎和久・吉羽邦彦／5回) う蝕、歯周病を中心とした口腔疾患の予防および治療に関する最新の知見を教授するとともに、高齢者・要介護者を中心とした口腔保健管理のための介入法の開発および評価方法について国内外の論文を取り上げながら論究する。 (山崎和久・奥田一博／5回) 歯周疾患の病態形成に関する最新の知見を踏まえたリスク分析および全身管理を含めた予防管理法について教授するとともに、歯周病予防管理の評価法や歯周疾患と全身疾患の関連等について国内外の論文を取り上げながら論究する。 (ステガロユ・ロクサーナ／2回) インプラントを含め、口腔・咀嚼機能のリハビリテーションとしての歯科補綴の理論および実際について教授するとともに、歯科補綴物を長期にわたり適切に機能させていく観点からの口腔保健管理手法の開発および評価法について国内外の論文を取り上げながら論究する。 (葭原明弘／2回) 小児期を中心とした口腔疾患の発症・進行に関与する要因、および予防法に関する最新の知見を教授するとともに、国内外の論文を取り上げながら効果的な口腔保健管理法の開発および評価手法について論究する。 (柴田佐都子／1回) 歯科衛生士が行う口腔保健指導に関し、栄養管理学的側面も踏まえた指導法の理論と実際について教授するとともに、行動科学に基づいた効果的指導法の開発および評価手法についての国内外の論文を取り上げながら論究する。</p>	オムニバス方式
	<p>摂食嚥下機能評価支援学特論 2単位</p>	<p>(概要) 摂食嚥下機能障害者の評価法、指導訓練法、リスク管理およびチームアプローチの理論と実際について最新の知見をふまえながら教授する。加えて、摂食嚥下障害者に対する支援法の開発および評価手法に関する研究デザイン、評価・解析技法等について論究する。 (オムニバス方式／全15回) (山村健介／2回) 摂食嚥下の神経制御機構および加齢変化等について最新の論文を交えて解説し、摂食嚥下機能に関する生理学的研究の動向と今後の展望について教授する。</p>	オムニバス方式

科目区分	授業科目の名称・単位	講義等の内容	備考
専		<p>(井上 誠／5回) 摂食嚥下機能障害の評価・診断・治療およびリハビリテーションの背景となる理論と実際について教授するとともに、評価手法や摂食機能訓練法に関する文献について批判的論考を加えることにより、当該分野における研究デザイン、評価・解析技法について論究する。</p> <p>(小野和宏／4回) 頭頸部領域の先天性疾患や悪性腫瘍により生じた摂食嚥下および言語機能の障害に対する診断・治療・リハビリテーションおよびリスク管理について、その背景となる理論と実際について教授する。加えて、こうした患者に対する口腔保健管理・支援法に関する国内外の文献を取り上げながらその研究手法等について論究する。</p> <p>(葎原明弘／2回) 摂食嚥下障害児の摂食嚥下機能に対する評価・診断等およびリハビリテーションの理論と実際について教授するとともに、心理的・社会的支援を含めた口腔保健管理の実践例を紹介し、今後の研究の課題と方法について論究する。</p> <p>(大湊 麗／2回) 言語聴覚士が行う言語・摂食嚥下障害患者に対する治療・リハビリテーションの背景となる理論と業務実際について最新の知見を交え概説するとともに、実例を提示しながら言語聴覚士からみたチームアプローチの現状と課題について教授する。</p>	
門 展 開 科 目	口腔保健福祉援助学特論 2単位	<p>(概要) 口腔や摂食嚥下に問題を抱える要介護者、障害者、有病者等に対する保健医療福祉を通じた総合的な援助（口腔保健福祉援助）を展開していく観点から、こうした対象者の症例分析等を通じて現状と課題を明らかにするとともに、対象者のニーズ把握、効果的援助方法の開発およびその評価法等に関する研究デザイン、評価・解析技法等について検討、理解する。</p> <p>(オムニバス方式／全15回) (高橋英樹／5回) 要介護者・障害者等に対する口腔保健福祉援助を行う際の理論と実践について実例を交えながら教授する。加えて、こうした対象者のニーズ把握に関する質的研究を中心とした国内外の論文を解説し、援助法の開発および評価に関する研究手法について論究する。</p> <p>(高橋英樹／5回) 障害（児）者がおかれている環境とその背景、これらの対象者が抱える課題について実態調査、症例報告等を交えながら概説する。その上で、こうした対象者の健康福祉を実現していくための公的・民間セクターの取組とそのなかで歯科保健医療関係者が果たしている役割について、関係論文、報告書を提示・検証しながら、現状と今後の課題について検討する。</p> <p>(柴田佐都子／2回) 摂食嚥下障害を有する患者等に対する歯科衛生士の業務の実態とチームアプローチについて概説するとともに、歯科衛生士が行う口腔ケアが摂食嚥下障害患者等の口腔機能および生活の質の向上にどのような役割を果たしているか、関係論文を提示しながら論究する。</p> <p>(高橋英樹／2回) 在宅要介護者・要支援者に対する地域包括ケア体制の構築に関する現状と課題について事例や文献等を提示しながら検討するとともに、地域包括ケア体制における社会福祉士、介護支援専門員等の専門職の役割について教授する。</p> <p>(大内章嗣／1回) 歯科口腔保健医療を含む地域連携ケア体制の概念とその取組の実際について実例をふまえながら教授する。併せて、その推進のための根拠となっている関係文献を提示し、批判的論考を加えることにより、今後の研究手法等について検討する。</p>	オムニバス方式

科目区分	授業科目の名称・単位	講義等の内容	備考
専門展開科目	地域口腔保健福祉学特論 2単位	<p>(概要)</p> <p>地域社会の特性に基づいた口腔保健福祉活動・施策を推進していく観点から、地域福祉・保健に関する概念、理論および制度等について教授するとともに、地域ニーズの把握、地域ネットワークの形成、施策選択の意志決定過程、評価手法等に関する事例や文献等を踏まえながら論究する。 (オムニバス方式／全15回) (米澤大輔／4回)</p> <p>主に地域福祉の観点から、社会的弱者を含めた住民の生活・健康を守っていくとする取組について、その歴史的経緯、背景となる理論・手法を含め概説するとともに、社会心理学的側面からの支援方策の開発および評価手法についての文献および実践例等を提示し、検討を加える。 (大内章嗣／3回)</p> <p>口腔保健福祉提供の基盤としての歯科保健医療専門職および介護・福祉職、医療施設や介護・福祉施設等の歴史的経緯・役割、動態、経済状況、ニーズとのマッチング状況等について概説する。こうした理解に立脚したうえで、地域における口腔保健福祉活動の展開のためのネットワークづくりについて事例報告や文献をもとに吟味しながら論究する。 (黒川孝一／3回)</p> <p>地域口腔保健活動の背景となる概念・理論およびその取組の実際について、国際的見地からみた我が国の現状を含めて概説する。加えて、口腔保健活動の効果的介入法の開発・評価に関する文献を提示し、検証を加えることにより、今後の研究手法等について考察する。 (黒川孝一／5回)</p> <p>在宅要介護者・施設入所者の口腔問題に関する実態調査を端緒として、これに対応するための取組がどのように意志決定・展開されたのか、文献や報告書を踏まえながら検討を加え、地域保健福祉の観点からの課題を明らかにする。また、その成果がどのように評価されているか、当該文献等を題材に批判的論証を加え、より効果的な介入方法の開発等に関する研究手法について論究する。</p>	オムニバス方式
	アカデミックライティング 2単位	<p>(ジャン・プレゲンズ／7回)</p> <p>センテンスレベルから始め、最終的には論文の形式に則した英文が記述できるよう段階的なコースワークにより、適切な英論文を執筆する能力を修得する。</p>	
	アカデミックリーディングⅡ 1単位	<p>(ステガロロ・ロクサーナ／8回)</p> <p>口腔保健福祉分野に関連した英文を題材に、個別的なコースワークにより専門用語・表現を中心に英論文読解力の習熟を図る。</p>	
研究指導(4単位)	口腔保健福祉学特定研究 4単位	<p>他の専門展開科目等の習得を進めるなかで、口腔保健福祉学に関する研究テーマを設定し、関連文献の調査、倫理的配慮に基づいた研究計画・研究手法の設定、分析法等の指導を段階的に行いながら、研究フィールドにおける調査や実験等により得られた研究結果を分析・考察し、最終的に研究論文の作成に至るまでの指導を行う。 (高橋英樹)</p> <p>ミクロレベルでは、被虐待児、高齢者、障害者等要支援者における食行動を含めた生活習慣の形成と健康指南力の獲得過程に関するアセスメント手法について学習理論等行動科学の視点から概説するとともに、マクロレベルでは地域保健福祉ネットワーク論の立場から地方自治体等と協働し、ポピュレーションアプローチにおける健康水準向上のアウトカム指標の研究開発と指導を行う。 (山崎和久)</p> <p>歯周疾患の全身に及ぼす影響について、これまでの疫学研究を調査・検討し、その意義及び問題点を抽出する。その上で因果関係を明らかにするために必要な研究方法を考察するとともに、実際に行われている研究の疫学的背景、生物学的意義を理解するための研究課題を設定し、研究指導を行う。</p>	演習・実験・実習の各時間数は、個々の研究指導計画に基づく

科目区分	授業科目の名称・単位	講義等の内容	備考
研究指導		<p>(吉羽邦彦) 根面う蝕を含むう蝕の発生機序および予防管理に関する基礎・臨床両面にわたるこれまでの研究を調査・検討し、その意義及び問題点を理解する。その上で、高齢者、障がい者等の特性・社会背景を考慮したう蝕の発生、再発予防のための効果的な手法の開発、リスク評価等について研究課題を設定し、研究指導を行う。</p> <p>(小野和宏) 口唇口蓋裂をはじめとした先天奇形を有する患者および両親等を対象とした効果的な口腔保健管理および心理社会的サポートの開発に関し、患者および両親等の受容意識や適応パターンの分析、多職種間の望ましい連携の在り方、治療計画立案への患者および両親等の参画とその効果を中心に研究課題を設定し、研究指導を行う。</p> <p>(葎原明弘) 医療・保健・福祉領域の関連をさらに発展させるため、福祉領域における口腔保健活動の及ぼす効果について、社会的・環境的要因にも着目しながら、歯科的関与の可能性について倫理的配慮に基づいた研究計画の設定、フィールドにおける調査研究方法や結果の分析方法について研究指導を行う。</p> <p>(大内章嗣) 地域住民および要介護高齢者等の特定集団を対象とした摂食・口腔機能維持向上のための効果的介入方策の開発に関し、受け手側である住民等および提供者である保健医療福祉従事者等の意識・行動パターン分析、多職種間の連携を促進するためのツール開発とその評価、社会資源・経済面を含めた費用対効果を中心とした研究課題を設定し、研究指導を行う。</p> <p>(ステガロユ・ロクサーナ) 歯を喪失した場合、インプラントを含む各種歯科補綴装置の適用により、咬合・咀嚼機能の維持・回復が図られており、高齢者の健康保持に重要である。こうした補綴装置を長期にわたり適切に機能させていくために重要となる口腔内各組織への力学的影響を検証し、咬合・咀嚼機能の面から補綴装置の長期維持管理を阻害するリスク要因を簡易に検出する手法の開発等に関する研究指導を行う。</p> <p>(黒川孝一) 地方自治体における生活習慣病対策の経験を礎に、生活習慣病予備軍に対する口腔保健管理と生活習慣病予防対策の相乗効果を期待するプログラムの開発、他職種との連携による効果的介入方策について検討し、実践、解析、成人期における中短期的医療経済効果の検証、評価を中心とした研究課題を設定し、研究指導を行う。</p> <p>(柴田佐都子) 原因疾患、ライフステージ等様々な背景を有する摂食・嚥下障害者を対象に、口腔衛生状態の維持に影響する要因について、環境や職種連携を含めた多面的な視点から分析・検討するとともに、これら対象別要因分析に基づいた口腔保健・口腔機能の維持向上のための効果的指導法の開発と評価に関する研究課題を設定し、研究指導を行う。</p>	

VI. 本研究科所定用紙（出願書類等）

令和2年度

新潟大学大学院医歯学総合研究科口腔生命福祉学専攻（博士後期課程）入学願書

受験番号 ※

募集 区分	<input type="checkbox"/> 第1次募集	<input type="checkbox"/> 一般入試
	<input type="checkbox"/> 第2次募集	<input type="checkbox"/> 社会人特別入試

フリガナ				性別	年齢
氏名 生年月日	昭和・平成 年 月 日生			男・女	歳
現住所	〒 TEL () -				
履 歴					
学 歴 及 取得学位	年 月 立	専門学校	科	入学 卒業 卒業見込み	
	年 月 立	短期大学	科	入学 卒業 卒業見込み	
	年 月 立	大 学	科	入学 卒業 卒業見込み	
	年 月 立	大学院	研究科	専攻 修了 修了見込み	
	年 月	大学改革支援・学位授与機構			学位授与 学位授与見込み
職 歴	年 月	年 数	勤 務 先		
	年 月 ~ 年 月				
	年 月 ~ 年 月				
	年 月 ~ 年 月				
	年 月 ~ 年 月				
備 考					

(注) 1. 該当する事項を○で囲んでください。

2. ※欄は記入しないでください。

3. □には、該当する箇所にはレを記入してください。

4. 学歴・職歴欄が不足の場合は、「裏記入」欄に有無を記入し、裏面に追加記入してください。

5. 年齢は、令和2年4月1日現在の満年齢を記入してください。

裏記入

有・無

検定料納付証明書

(新潟大学提出用)

貼 付 欄

○金融機関の窓口で受領した検定料納付証明書(新潟大学提出用)を貼ってください。

(※取扱金融機関の収納印が押印されていることを必ず確認してください。)

受 験 票

募集区分	<input type="checkbox"/> 第1次募集 <input type="checkbox"/> 第2次募集	令和2年度新潟大学大学院医歯学総合研究科 口腔生命福祉学専攻（博士後期課程）
------	---	---

受験番号	※			
(フリガナ)				
氏名				
生年月日	昭和・平成	年	月	日生
				性別
				男・女
出願資格	<input type="checkbox"/> 一般入試	<input type="checkbox"/> 社会人特別入試	<input type="checkbox"/> 進学者選考	

写真貼付欄
縦4 cm×横3 cm

- (注) 1. ※欄は記入しないこと。
 2. 募集区分，出願資格の□には，該当する箇所にしを記入すること。
 3. 上半身，無帽，正面向きで出願前3か月以内に撮影した写真（縦4 cm，横3 cm）を「写真貼付欄」へ貼ること。

(きりとり)

× 写 真 票

募集区分	<input type="checkbox"/> 第1次募集 <input type="checkbox"/> 第2次募集	令和2年度新潟大学大学院医歯学総合研究科 口腔生命福祉学専攻（博士後期課程）
------	---	---

受験番号	※			
(フリガナ)				
氏名				
生年月日	昭和・平成	年	月	日生
				性別
				男・女
出願資格	<input type="checkbox"/> 一般入試	<input type="checkbox"/> 社会人特別入試	<input type="checkbox"/> 進学者選考	

写真貼付欄
上の受験票と同じ 写真を貼ってください。 縦4 cm×横3 cm

- (注) 1. ※欄は記入しないこと。
 2. 募集区分，出願資格の□には，該当する箇所にしを記入すること。
 3. 上半身，無帽，正面向きで出願前3か月以内に撮影した写真（縦4 cm，横3 cm）を「写真貼付欄」へ貼ること。

「振込依頼書」(新潟大学大学院医歯学総合研究科(博士後期課程)入学試験検定料)・振込金及び手数料領収書(志願者保存)・検定料納付証明書(新潟大学提出用)」

留意事項

- 下部の「振込依頼書(新潟大学大学院医歯学総合研究科(博士後期課程)入学試験検定料)・振込金及び手数料領収書(志願者保存)・検定料納付証明書(新潟大学提出用)」に必要事項を記入のうえ、金融機関(ゆうちょ銀行を除く。)の窓口で所定の検定料を振り込んでください。
なお、ATM(現金自動預払機)での振込みはできません。
- 振込み手続後、金融機関の窓口から返却された「振込金及び手数料領収書(志願者保存)」及び「検定料納付証明書(新潟大学提出用)」は金融機関の収納印が押印されていることを必ず確認してください。
- 「振込金及び手数料領収書(志願者保存)」は、大切に保管しておいてください。
- 「検定料納付証明書(新潟大学提出用)」は、入学志願票の所定欄に必ず貼ってください。
- 振込手数料は、志願者本人の負担となります。
- 金融機関の取扱期間は、第1次募集は、令和元年11月5日(火)から11月14日(木)[15時]まで、第2次募集にあっては令和2年1月7日(火)から1月16日(木)[15時]までです。(※土・日曜日及び祝日の振込みは、できません。)

志願者が切り離してください

振込依頼書(新潟大学大学院医歯学総合研究科(博士後期課程)入学試験検定料)

黒ボールペンで記入してください(記入後修正する場合は、二重線で抹消して捺印のうえ書き直してください。)

依頼日	令和	年	月	日	振込指定	電信扱	手数料(消費税込)						
振込先行金目種別フリガナ	第四銀行	内野支店	金額	¥	30000	金額	(訂正不可)						
普通口座番号	1658250	ニイガタダイガク	現	金		手	枚						
取人	国立大学法人	新潟大学	内	当		他							
口座名			訳										
整理番号フリガナ氏名													
依頼人													

金融機関が切り離してください

金融機関取扱期間(期間外取扱不可)
第1次募集
令和元年11月5日(火)～令和元年11月14日(木)
第2次募集
令和2年1月7日(火)～令和2年1月16日(木)

振込金及び手数料領収書(志願者保存)

金額	¥	30000											
手数料(消費税込)													
フリガナ													
依頼人													
受取人	国立大学法人	新潟大学											
整理番号													

大学院医歯学総合研究科(博士後期課程)入学試験検定料として上記のとおり領収しました。

検定料納付証明書(新潟大学提出用)

金額	¥	30000											
手数料(消費税込)													
フリガナ													
依頼人													
受取人	国立大学法人	新潟大学											
整理番号													

大学院医歯学総合研究科(博士後期課程)入学試験検定料として上記のとおり領収しました。



金融機関へのお願い

の部分(整理番号・フリガナ氏名)を必ずすべて打電してください。

1

2

3

受験番号	※
------	---

令和2年度 新潟大学大学院

医歯学総合研究科口腔生命福祉学専攻（博士後期課程）

研究（希望）計画書

入学後に研究を希望する課題又は分野等について、概要を1,000字程度にまとめ記入してください。

<p>（以下裏頁）</p>

令和 年 月 日

氏 名

（注） ※欄は、記入しないでください。



受験番号	※
------	---

令和2年度 新潟大学大学院

医歯学総合研究科口腔生命福祉学専攻（博士後期課程）

修士論文要旨又は研究経過報告書

修士論文の要旨又は研究経過報告を2,000字程度にまとめ記入してください。

(以下裏頁)							
令和	年	月	日				
			氏名				

(注) ※欄は、記入しないでください。



研究業績等調書

氏名 _____

新潟大学大学院医歯学総合研究科
口腔生命福祉学専攻（博士後期課程）

令和2年度

著書, 学術論文, 研究発表, 特許等の名称	発行又は発表の年月日	発行所, 発表雑誌等又は発表学会の名称	共著者又は共同発表者 (本人を含む)
著書			
学術論文			
学会発表（施設内発表を含む）			
その他			

(注) 1. ※欄は, 記入しないこと。

2. 本様式に書き切れない場合は, 同様の形式のものを付加してください。

3. 「著書, 学術論文, 研究発表等」の欄は最新のものから順に記載してください。

4. 「共著者又は共同発表者名」は著書, 学術論文, 研究発表・特許等の順に記載し, 筆頭者には○印を付け自分の名前に下線を付してください。

5. 研究業績等が無い場合は, 本調書の「著書, 学術論文, 研究発表, 特許等の名称」欄に「無し」と記載してください。

なお, 臨地での実務経験者にあつては, 臨床（臨地）経験の概要（様式は問いません）を添付してください。

入学試験出願資格認定申請書

令和 年 月 日

新潟大学長 殿

申請（出願希望）者

（フリガナ）
氏 名 _____
生 年 月 日 昭和・平成 年 月 日
住所（審査結果等連絡先） 〒 -

自宅電話（ ） -

携帯電話（ ） -

〈事前審査を希望する出願資格〉

（募集要項を参照の上、該当出願資格に“✓”を付してください。）

- 【一般入試，社会人特別入試】 （ (2) (3) ）
（ (5) (6) (7) ）

〈上記出願資格に関する最終学歴・研究歴等を以下に記入してください。〉

学 歴		年 月入学 年 月卒業 在籍中
研 究 歴		年 月から 年 月

※裏面も記入してください。

以 上

履 歴 書

(出願資格認定審査用)

令和 2 年度	受付番号	※		
本 籍	都・道・府・県 (外国人は国籍を記入すること。)			
現 住 所	〒 _____ 電話 (_____) _____			
(フリガナ) 氏 名	男 ・ 女	生年 月日 年 月 日 (令和 2 年 4 月 1 日で満 _____ 歳)		
学 歴	入 学 ～ 卒 業	学 校 名	正 規 の 修 学 年 数	実 際 の 修 学 年 数
	年 月 ～ 年 月	小 学 校		
	年 月 ～ 年 月	中 学 校		
	年 月 ～ 年 月	高 校		
	年 月 ～ 年 月			
	年 月 ～ 年 月			
	年 月 ～ 年 月			
	年 月 ～ 年 月			
研 究 歴	研 究 期 間	研 究 機 関 名 (身 分 等)	年 数	
	年 月 ～ 年 月			
	年 月 ～ 年 月			
	年 月 ～ 年 月			
	年 月 ～ 年 月			
職 歴	勤 務 期 間	勤 務 先 名 (職 名 等)	年 数	
	年 月 ～ 年 月			
	年 月 ～ 年 月			
	年 月 ～ 年 月			
	年 月 ～ 年 月			
	年 月 ～ 年 月			
日 本 語 学 習 歴 (外国人留 学生のみ)	履 修 期 間	教 育 機 関 名	年 数	
	年 月 ～ 年 月			
	年 月 ～ 年 月			

- (注) 1. 外国人については、「学歴」欄は小学校から記入してください。
 2. 日本人については、「学歴」欄は高等学校から記入してください。
 3. 大学等での研究生については、「研究歴」欄に記入してください。
 4. ※欄は記入しないでください。

令和2年度

新潟大学大学院医歯学総合研究科口腔生命福祉学専攻（博士後期課程）進学願書

募集区分	<input type="checkbox"/> 第1次募集
	<input type="checkbox"/> 第2次募集

受験番号	※
------	---

フリガナ				性別	年齢
氏名 生年月日	昭和・平成 年 月 日生			男・女	歳
現住所	〒 TEL () -				
履 歴					
学歴及び 取得学位	年 月 立	専門学校	科	入学 卒業 卒業見込み	
	年 月 立	短期大学	科	入学 卒業 卒業見込み	
	年 月 立	大学	科	入学 卒業 卒業見込み	
	年 月 立	大学院	研究科	専攻 修了 修了見込み	
職歴	年 月	年数	勤務先		
	年 月 ~ 年 月				
	年 月 ~ 年 月				
	年 月 ~ 年 月				
	年 月 ~ 年 月				
備考					

(注) 1. 該当する事項を○で囲んでください。

2. ※欄は記入しないでください。

3. □には、該当する箇所にレを記入してください。

4. 学歴・職歴欄が不足の場合は、「裏記入」欄に有無を記入し、裏面に追加記入してください。

5. 年齢は、令和2年4月1日現在の満年齢を記入してください。

裏記入

有・無



就 学 承 諾 書

新潟大学大学院医歯学総合研究科長 殿

氏 名 印

生年月日 昭和 年 月 日生
平成

上記の者が、貴大学大学院医歯学総合研究科に入学した場合は、大学院設置基準第14条（※）特例の適用により、在職したまま在学することを認めます。

また、長期履修学生制度について、下記のとおり申し出ます。

（※）大学院設置基準第14条

「大学院の課程においては、教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。」

◎長期履修学生制度について（どちらかに必ずチェックをしてください。）

長期履修学生制度を希望する。

履修期間を 年にする。

（4年又は5年）

長期履修学生制度を希望しない。

令和 年 月 日

所 在 地

所属機関等

所属長名

印

リサイクル適性 

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。